

本格稼働を始めた木質バイオマスボイラー
8日、坂井市の三国観光ホテル



木質ボイラー稼働

設置ホテルで式典

あわら協
三国

あわら、坂井両市で県産間伐材などを使った熱エネルギー利用を推進する、あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会は8日、坂井市の三国観光ホテルに設置した木質バイオマスボイラーの本格稼働開始式典を同ホテルで開いた。

あわら、坂井両市で県産間伐材などを使った熱エネルギー利用を推進する、あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会は8日、坂井市の三国観光ホテルに設置した木質バイオマスボイラーの本格稼働開始式典を同ホテルで開いた。

あわら、坂井両市で県産間伐材などを使った熱エネルギー利用を推進する、あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会は8日、坂井市の三国観光ホテルに設置した木質バイオマスボイラーの本格稼働開始式典を同ホテルで開いた。

あわら、坂井両市で県産間伐材などを使った熱エネルギー利用を推進する、あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会は8日、坂井市の三国観光ホテルに設置した木質バイオマスボイラーの本格稼働開始式典を同ホテルで開いた。

あわら、坂井両市で県産間伐材などを使った熱エネルギー利用を推進する、あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会は8日、坂井市の三国観光ホテルに設置した木質バイオマスボイラーの本格稼働開始式典を同ホテルで開いた。

(児島崇之)

地産地消ポイラー稼働

三国観光ホテル 木質チップ燃料

坂井地区で伐採された木材を燃料にして、地産地消でのエネルギー循環を目指す木質チップポイラー稼働式が八日、坂井市三国町緑ヶ丘四丁目の三国観光ホテルで開かれた。関係者約五十人が参加し、新たなエネルギー循環システムのスタートを祝った。

ポイラー施設はホテル敷地内にあり、マルツ電波(福井市)や坂井森林組合、地区内の旅館やホテ

ル、観光業など約三十団体でつくる「あわら三国もりもりバイオマス」(あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会)が設置した。鉄骨造り平屋で七十平方メートル。半地下式でポイラー二基を備えている。

燃料は主に坂井地区内のスギの間伐材を一年間乾燥させ、二・三センチ角のチップにしたものを坂井森林組合から定期的に搬入する。チップを燃やして発生した

熱を、三国観光ホテルが広間の暖房や大浴場、一部の客室の給湯などに利用する。

協議会によると、チップの使用量は年間二百五十ト、四百ト。A重油に換算すると二百二十トに相当し、二酸化炭素(CO₂)の削減量は三百五十ト、四百トが見込まれる。ホテル全体に必要な熱量の約三分の一がまかなわれる。

(本田優子)



エネルギーの地産地消を目的に新設されたポイラー施設＝坂井市三国町緑ヶ丘4丁目で